

視察報告 会派 参輝会 令和 5 年 10 月 18 日

福岡県 田川郡香春町「スケートパーク」

香春町スケートパークは令和 4 年 2 月に廃校した小学校の、廃校跡地の利活用を検討していた頃、「香春みらい塾」からスケートボードができる屋内施設がないとの相談を受け、町と月 4 万円（主に電気代）で賃貸契約を締結した。

廃校の体育館を活かし、事業費も訳 100 万円程度に抑え、ボランティアやスポンサーの協力で一般財団法人「香春みらい塾」が運営している（町議会議員が代表を務めている）

インスタやグーグルなどで周知し選手を集め、各種ユニットも手作りとし経費を極力抑え至る所で創意工夫がされている。

令和 8 年までの限定しようだが、選手にとっては雨天時でも安心して使用できる大変魅力的な施設である。なまじ行政が手掛けると、大金をつぎ込み縛りを厳しく利用者にとっては利用しにくいものとなる。これから若い人口が減少するなか、こうした廃校や休校を利用した施設を作ることにより活気あるまちになるのではないか。

本市でも見習うべきであり取り組むべきである、大変有意義な視察であった。

参輝会 細田 憲司 福田 文治

視察報告 会派参輝会 令和5年10月19日

福岡県八女市「道の駅たちばな」

「道の駅たちばな」は生産者が中心となって平成15年立花町農産物利用組合を設立。工事着手や認可等手続きを経て、平成17年2月立花町農産物利用組合を指定管理者としてスタートした。その後組合組織を「有限会社道の駅たちばな」として法人化し、こんにちまで運営主体となって至っている。

生産者が主体となつての運営で当初の組合員数が376名から現在は約450名と拡大していることから生産者のための道の駅という存在価値が変わることなく農業振興に大きく貢献している施設といえる。

道の駅の良し悪しに駅長の役割は大きいが、ここの駅長は長らくJAの職員であつたことから、農産物の生産から販売流通まで熟知していることも年間約7億円売り上げる大きな要因の一つとなっている。

また、九州の大都市を繋ぐ国道3号線の沿線にあることから平成27年重点「道の駅」に選定、さらには令和4年「防災拠点自動車駐車場」に指定されて広い駐車場を持ち備蓄倉庫も併設している。防災という視点ではソレーネ周南との大きな共通点をもつ道の駅である。

課題としては高齢化の進展の共に生産者が減少してくることが予想され、活力が維持できるという点と、農業振興主体から観光等の多様なニーズに対応していけるかという点に課題を感じた。今後注視しておきたい道の駅である。

報告者 青木義雄